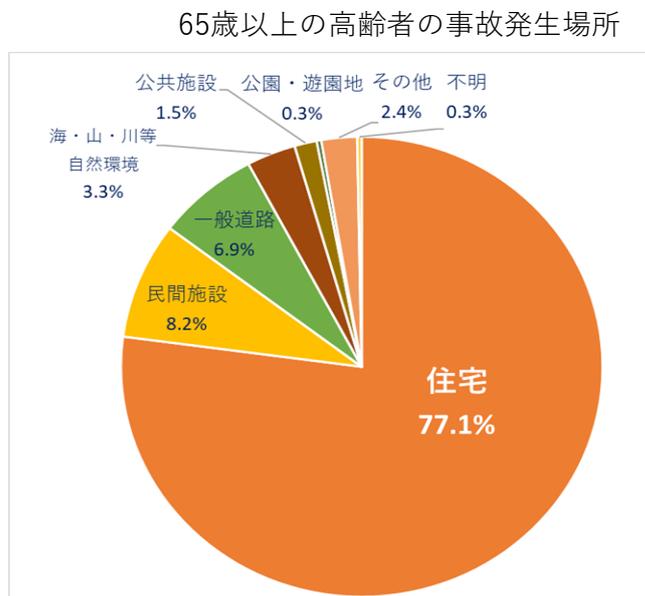


## 転倒についてのデータ

- ・ 65歳以上の高齢者の事故発生場所の約8割が**住宅**で発生している



出典：独立行政法人国民生活センター「医療機関ネットワーク事業からみた家庭内事故－高齢者編」



### <住宅での転倒場所>

屋内	1位	居室
	2位	階段
	3位	台所・食堂
	4位	玄関
	5位	風呂場
屋外	1位	庭

- 事例**
- ・ 自宅玄関の小さな段差につまずき、お尻から転んで足を強く打撲し、骨折した
  - ・ 縁側から庭に降りる際に段差で転倒し、大腿部を打撲して骨折した。

### <事故のきっかけ>

転倒・転落が事故全体の約半数を占め、「転落」は死亡事故も発生している。75歳以上の「転倒」の割合は、75歳未満の約3倍である。また、75歳以上になると「骨折」の割合が増す。これは男女とも骨の構造が弱くなって、骨量が減少してくる為である。

- ・要介護になる原因の10.8%（10人に1人）が転倒骨折である。（第4位）

（平成28年 厚生労働省 国民生活基礎調査）

H22年は第5位で、10.2%

骨折・転倒→体を動かす機会の減少→筋肉の衰え・骨がもろくなる  
→要介護・寿命を縮める という結果に

いつまでも心身ともに自立した生活を送るために**転倒予防**が重要！

転倒した場所

- 1位 庭 36.4%
- 2位 居間・茶の間・リビング 20.5%
- 3位 玄関・ホール・ポーチ 17.4%
- 4位 階段 13.8%
- 5位 寝室 10.3%

（H22年 高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査結果 内閣府）